



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2011年（平成23年）3月5日号 No. 1522

目次

■ 2010年版ロシア都市ビジネス環境ランキング	1
■ 統計速報	4
2011年1月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績 / 4	
2011年1月の日ロ貿易 / 5	
2010年のロシアの外国投資受入状況 / 6	
■ トピックス	7
トヨタ、ロシア極東での現地組立に基本合意 / 7	
札幌ホンダがサハリンに現法 / 8	
■ エトセトラ	8
「ロシア極東経済セミナー」のご案内 / 8	

2010年版ロシア都市ビジネス環境ランキング

はじめに

やや紹介が遅くなって恐縮だが、ロシアの『月刊RBC』誌の2010年11月号に、ロシア主要都市のビジネス環境をランキング形式で比較している記事が掲載されているので、今回の速報ではこれを抜粋して紹介したい。

『月刊RBC』がロシアの都市ビジネス環境ランキング（正確には「ビジネスにとって良好な都市のランキング」）を作成するのは、今回が4度目である。この資料は、別格のモスクワ市とサンクトペテルブルグ市を除いた、ローカル都市のみのランキングとなっている。今回対象となっているのは64都市であり、主に州都であるが、そうでない地方都市も含まれる。なお、重要都市では今回ニジニノヴゴロドが欠落しているが、原因は不明。なお、下表では、それぞれの都市が所在している連邦構成体をカッコ内に記したが、「クラスノダル地方・クラスノダル市」のように、連邦構成体名と州都名が一致する場合には、わざわざないので省略している。各都市の人口は小誌で独自に付した。

評価項目は、①市場規模（人口とその増加率）、②財政力（人口1人当たり歳入規模、財政収支、上位の財政への依存度）、③住宅建設市場、④商品小売市場（店舗面積、人口1人当たり小売販売高、小売に占める中小企業の比率）、⑤住民の豊かさ（人口1人当たり有料サービス額、平均所得の最低生計費に対する比率、失業率、乗用車保有率）、⑥安全性（犯罪発生率、交通事故発生率、犯罪解明率）という6つである。そして、これらの指標から総合指数が弾き出され、それにもとづいて64都市の順位付けがなされている。

必ずしも外国人実業家の感覚に合致しない部分もあるが、普段は州レベルが取り上げられることが多いだけに、都市レベルに着目した資料として興味深いことは間違いない。